

| 質問分類(大分類) | 質問分類(中分類) | 質問番号 | 質問(全体) | 評価軸1 | 評価軸2 |
|--------------|--|-------|--|----------|----------|
| 若手人材 | 若手研究者(39歳くらいまでのポストドクター、助教、准教授など、ただし学生は除く)の状況 | Q1-1 | 若手研究者の数は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-2 | 若手研究者に自立と活躍の機会を与えるための環境整備は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-3 | 若手研究者の自立性(例えば、自主的・独立的に研究開発を遂行する能力)は充分に高いと思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-4 | 海外に研究留学や就職する若手研究者の数は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-5 | 長期的な研究開発のパフォーマンスの向上という観点から、今後、若手研究者の比率をどうすべきですか。 | 比率を下げるべき | 比率を上げるべき |
| | 研究者を目指す若手の育成の状況 | Q1-6 | 現状として、望ましい能力を持つ人材が、博士課程後期を目指していると思いますか。 | 目指していない | 目指している |
| | | Q1-7 | 望ましい能力を持つ人材が博士課程後期を目指すための環境の整備(例えば、博士課程後期在学者への経済的支援、課程終了後のキャリア形成支援等)は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-8 | 博士号取得者がアカデミックな研究職以外の進路も含む多様なキャリアパスを選択できる環境の整備に向けての取組(博士号取得者本人や研究指導者の意識改革を含む)は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| 研究者の多様性 | 女性研究者の状況 | Q1-10 | 多様な研究者の確保という観点から、女性研究者の数は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-11 | より多くの女性研究者が活躍するための環境の改善(ライフステージに応じた支援など)は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-12 | より多くの女性研究者が活躍するための採用・昇進等の人事システムの工夫は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | 外国人研究者の状況 | Q1-13 | 多様な研究者の確保という観点から、外国人研究者の数は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-14 | 外国人研究者を受け入れる体制(研究立ち上げへの支援、能力に応じた給与など)は充分に整っていると思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | 研究者の業績評価の状況 | Q1-16 | 研究者の業績評価において、論文のみでなくさまざまな観点からの評価が充分に行われていますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-17 | 業績評価の結果を踏まえた、研究者へのインセンティブ付与(給与への反映、研究環境の改善、サバティカル休暇の付与など)が充分に行われていますか。 | 不充分 | 充分 |
| 研究環境や研究施設・設備 | 研究環境の状況 | Q1-18 | 研究開発にかかる基本的な活動を実施するうえで、現状の基盤的経費(機関の内部研究費)は充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-19 | 科学研究費助成事業(科研費)における研究費の使いやすさ(例えば入金時期、研究費の年度間繰越等)の程度はどのように思いますか？ | 使いにくい | 使いやすい |
| | | Q1-20 | 研究費の基金化は、研究開発を効果的・効率的に実施することに役立っていますか。 | 役立っていない | 役立っている |
| | | Q1-21 | 研究時間を確保するための取り組み(組織マネジメントの工夫、研究支援者の確保など)は充分なされていると思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | | Q1-22 | 研究活動を円滑に実施するための業務に従事する専門人材(リサーチアドミニストレータ)の育成・確保は充分なされていると思いますか。 | 不充分 | 充分 |
| | 研究施設・設備の整備等の状況 | Q1-24 | 研究施設・設備の程度は、創造的・先端的な研究開発や優れた人材の育成を行うのに充分と思いますか。 | 不充分 | 充分 |